

## 株式会社システムサポート

### ◎ 事業所概要

企業名:株式会社システムサポート  
代表者氏名:代表取締役 こしみず りょうじ 小清水 良次  
所在地:金沢市  
業種:情報通信業  
労働者数:669人



### ◎ 行動計画

- |   |      |                         |
|---|------|-------------------------|
| 1 | 計画期間 | 平成26年7月1日～平成28年6月30日    |
| 2 | 内容   |                         |
|   | 目標   | 短時間勤務制度・時差出勤制度の利用向上を目指す |

### ◎ 目標達成の状況

社内掲示板に育児・介護休業規定を掲載して各制度について周知をしたことで、前期(平成24年7月1日～平成26年6月30日)の育児短時間勤務制度利用者10名、時差出勤制度利用者0名から育児短時間勤務制度利用者17名、時差出勤制度利用者1名に増加した。

### ◎ その他の取組の状況

- ・計画期間中の育児休業取得者は男性3名、女性10名となった。
- ・小学校就学前の子を持つ労働者は育児所定外労働免除制度、短時間勤務制度または時差出勤制度の利用ができ、事情がある場合、中学校就学前の子を持つ労働者は短時間勤務制度または時差出勤制度の利用ができる。
- ・社内掲示板に毎週水曜がノー残業デーであることを掲示し、当日もメール配信し、ノー残業デーを実施した。

## 企業からのひとこと

### ○ 行動計画に基づく取組にあたって工夫した点

電子掲示板を活用して社員へ周知を行いました。また、さらに育児と介護を両立できる働きやすい就業環境を提供することで、社員が継続的に当社でキャリアを積み存分に活躍できるようにするため、計画期間中に育児休業規程を改正しました。これにより、子が小学生の間（常態として子が孤立する場合）も短時間勤務または時差出勤を申請することができるようになりました。（従来は、子が小学校に入るまで申請可能でした。）

### ○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

上記の結果、前回の計画期間と比較し、短時間勤務制度・時差出勤制度の利用者数は約2倍、育児休業を利用した男性社員数も増加しました。また、子が小学校に上がった社員も短時間勤務や時差出勤を引き続き利用することでキャリアを継続することができています。

### ○ 育児休業を取得した男性社員の声

（プロダクトサービス事業部・33歳）

妻の妊娠初期から後期まで状態が悪く、いつも流産の心配をしながら生活していました。医者からは安静に生活するように言われ、妊娠後期には妻は入院しました。また、里帰り出産ができる環境ではなかったため、妊娠中、出産前後は私が妻をサポートすると決めていました。会社からは、男性も育児休業の実績があると聞いていましたので、迷うことなく1ヶ月ほど申請をしました。産後は安静が必要ですので、家の中のことは全て私が行い、妻をサポートする時間に使いました。育児休業のおかげで無事に出産でき、家族の絆が深まったと思っています。

男性の育児休業は、周りの「理解」と「サポート」がなければ取得しづらいものだと思いますので、とても感謝しています。

### ○ 育児短時間勤務を取得した社員の声

（総務部・40歳）

初めての育児で仕事復帰することに不安を感じていましたが、この制度を利用し、仕事も育児もがんばっている女性が私の周りに多くいたので、利用することに決めました。

育児には、悩みやストレスはつきものです。私は、家族はもちろん、友達だけではなく、会社の同僚にも相談して解消してもらっています。こうしたことができるのも、仕事を続けることができ、同じようにこの制度を利用し、がんばっている女性が周りからいるからだと思っています。

子供の成長を見ることはとても幸せで、子供との時間はやはり一番ですが、社会との関わり、人との関わりを持つことも大切だと実感しています。周りの協力もあってこそですが、この制度のおかげで、生活のバランスがとれ、充実した毎日が送れているのだと思います。